

2013(平成25)年度第2学期 大学院単位認定試験時間割

曜日 時限	1月24日(金)			1月25日(土)		
	科目名	試験形式	持ち込み許可物品	科目名	試験形式	持ち込み許可物品
1 9:15   10:05	家族心理学特論('10) 地域の発展と産業('11) 21世紀メディア論('11) 教育行政と学校経営('12)	択一 記述 択一 併用	不可 不可 印刷教材・ノート 不可	社会福祉研究('10) 才能と教育('10) 国語国文学研究の成立('11) 情報学の展開('12) 環境工学('13)	記述 記述 記述 択一 記述	不可 不可 印刷教材・ノート(必携) 不可 印刷教材・ノート
2 10:25   11:15	日本の歴史と社会('09) 健康科学の史的展開('10) 生涯学習の理論と実践('10) ヘルスリサーチの方法論('13)	記述 択一 記述 択一	印刷教材・ノート 不可 印刷教材・ノート 不可	現代の福祉政策('10) コミュニティ教育論('10) 現代物理学の論理と方法('13) 音楽・情報・脳('13)	記述 記述 択一 記述	印刷教材・ノート 不可 不可 不可
3 11:35   12:25	学校臨床心理学特論('09) 都市環境デザイン論('10) 生命環境科学Ⅰ('10) 発達運動論('11) 研究のためのICT活用('13)	記述 択一 記述 択一 択一	不可 不可 不可 不可 不可	スポーツ・健康科学('09) 社会経済組織論('10) 東アジアの歴史と社会('10) 生涯発達心理学研究('11) ソフトウェア工学('13)	択一 記述 記述 択一 択一	不可 印刷教材・ノート 印刷教材・ノート 不可 不可
4 13:15   14:05	数理科学の方法('09) 心理・教育統計法特論('09) 産業立地と地域経済('12) eラーニングの理論と実践('12)	択一 択一 択一 択一	不可 印刷教材・ノート(必携) 不可 不可	計算論('10) 発達心理学特論('11) 生活リスクマネジメント('11) 自治体ガバナンス('13)	択一 択一 択一 択一	不可 印刷教材・ノート 不可 不可
5 14:25   15:15	生活健康研究('09) 哲学史における生命概念('10) 臨床心理地域援助特論('11) パーソナル・ネットワーク論('12) カリキュラム編成論('13)	併用 併用 択一 記述 記述	不可 印刷教材・ノート 印刷教材・ノート 不可 印刷教材・ノート	看護ケアの倫理学('09) 20世紀中国政治史研究('11) 教育文化論特論('11) 臨床心理学研究法特論('12)	記述 記述 記述 択一	不可 印刷教材・ノート 印刷教材・ノート 不可
6 15:35   16:25	物質環境科学Ⅱ('08) 居住環境整備論('12) ことばとメディア('13) 障害児・障害者心理学特論('13)	記述 記述 記述 択一	印刷教材・ノート 印刷教材・ノート 印刷教材・ノート 不可	生命環境科学Ⅱ('08) 公共哲学('10) 行政裁量論('11) 臨床心理面接特論('13)	記述 記述 記述 択一	不可 印刷教材・ノート 印刷教材・ノート、六法 不可
7 16:45   17:35	家族生活研究('09) 現代地球科学('11) 教育心理学特論('12) 美学・芸術学研究('13)	択一 択一 択一 択一	不可 不可 不可 不可	大学のマネジメント('08) 人間発達論('09) 基礎情報科学('09) 臨床心理学特論('11) アフリカ世界の歴史と文化('13)	記述 記述 択一 択一 記述	不可 印刷教材・ノート 不可 不可 印刷教材・ノート
8 17:55   18:45	異文化の交流と共存('09) 精神医学特論('10) 現代教育改革論('11) 日本の技術・政策・経営('13)	記述 択一 択一 併用	印刷教材・ノート 不可 不可 不可	食健康科学('09) 人類学研究('10) 道徳性形成・徳育論('11) 現代社会心理学特論('11) データベースと情報管理('12)	択一 記述 記述 択一 択一	印刷教材・ノート 不可 印刷教材・ノート 不可 不可

**注意**

**【持込許可物品の範囲について】**

印刷教材：受験科目に該当するものであること。  
(テキスト) 書き込み、通信指導問題・添削結果、過去の単位認定試験問題、コピーの添付又は挟み込みがあっても可。

ノート：受験科目に該当するものであること。  
紙媒体のものであれば資料(通信指導問題・添削結果、過去の単位認定試験問題を含む)の貼り付けや挟み込みも基本的に可(書籍は不可)。  
パソコン等を用いて作成したノートも可。

電卓：次のものは不可。  
パソコン、PDA、携帯電話、PHS、スマートフォン、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能つき電卓、音声応答機能つき電卓、電卓付き腕時計等。

六法：六法。(判例、解説付きのものも含む)  
コピー及び電子辞書類は不可。

辞書：指定された種類の辞書。電子辞書類はすべて不可。

**【掲載されている時間割について】**

- ・試験形式は、択一式、記述式、両者併用式のいずれかになります。
- ・この時間割は、2013(平成25)年度第2学期限りのものです。

**【その他】**

- ・試験会場では印刷教材、筆記用具等の貸出は致しません。
- ・視覚補助が必要な場合はルーペ・拡大鏡等の持込可。